



## しもなかっこだより — 第2学期を終えて —

令和2年12月24日  
小田原市立下中幼稚園  
園長 久保寺 佳香

黄金色に色付いたイチョウの木もすっかりと葉を落とし、冬支度を始めました。朝晩の冷え込みに、園庭の芝生にも霜が降り一面が真っ白になりました。10月から始めた当番活動も、年長組の子どもたちは毎回楽しみにしているようで、自分の番になると大きな声で張り切ってあいさつをしています。元気なあいさつは、とても気持ちのよいものですね。



「おはようございます」「元気ですか?」「はい、元気です」「行ってきます」「行ってらっしゃい」「お願いします」「お預かりします」という何気ない毎日のあいさつですが、きちんと立ち止まり目と目を合わせて話をするのが、人と人の心をつなげているということ、子どもたちは体験しながら学んでいます。きっと、ご家庭でも元気なあいさつが交わされていることでしょう。とても素敵なことですね。

これからも心を込めて、皆様をお迎えしたいと思います。

さて、保護者の皆様のご理解とご協力のもと、第2学期も、子どもたちは元気に登園し、やりたいことを見つけ、夢中になって遊んできました。そして、友達や先生と一緒に時間をかけて相談しながら作り上げてきた“運動会”や“生活発表会”での経験は、子どもたちの『自信』につながり、これまで以上にいろいろなことに挑戦する姿が見られています。

今後も、社会情勢を見ながら体制を整え、より健康で安全な方法を模索しながら教育を進めていきます。

明日から冬休みに入ります。年末年始であわただしい毎日になりますが、朝の検温、マスクの着用、丁寧な手洗いと消毒等、園生活で身に付けた“新しい生活様式”を大切に、健やかに過ごしてください。



下中幼稚園は、  
しぜんと愛が**い**っぱいの地域の中で、  
**も**りもり食べて丈夫な体をつくり  
**な**かよく思い合える友達と一緒に  
**か**んがえを伝え合い、遊びを創り出す  
子どもの育成を目指します。

### 泣かないで!

初めての集団生活。先生大好き、友達大好き、幼稚園で遊ぶのも大好き。だけど、大好きなお母さんと離れるのは、ちょっと辛いと、涙がこぼれてしまう場面があります。保護者の方も「そこまでは、にこにこしていたんですけどね。」と苦笑いですが、子どもたちにとって、ここを乗り越えるのはとても勇気が

いること。そんな時は、「体調が悪いのかな?」「週末で疲れているのかな?」「家で何かあったのかな?」などいろいろな思いを巡らせながら受け入れます。

そこへ、同じクラスの友達がやってきて「一緒に行こう。」と手を差しのべてくれました。やっぱりお母さんの方がいいと首を振ることもあります。うん。」と、うなずいて仲良く手を繋ぎ、大好きな先生の待つ場所へと歩いて行くことが多くなりました。保護者の方もその姿をみて、安心してお帰りになります。



子どもたちは、日々の生活の中で、自分のやりたいことに夢中になって取り組みながら、「これはおもしろい」「どうして?不思議だな」「できない、悲しい、でも頑張る」「やったー、できた」など様々な感情体験をしています。時には自分の思う通りにならないこともあるようですが、それぞれの思いをぶつけ合いながらも、人の優しさに触れたり、どうしたら仲良く遊べるのかを考え合ったりし、友達と一緒に過ごす心地よさを感じながら豊かな心を育てています。



## せーの

給食の片付けの頃になると、階段の上の方から「せーの」という元気な声が聞こえてきます。「せーの、1.2、1.2…」 「せーの、一緒、一緒…」

食べ終えた皿を入れた重たいかごを持って、階段下まで2人で運ぶのです。給食が始まった頃には全て教師がやっていたことも、今では子どもたちが分担して階段下まで降ろすことができるようになりました。片方の手でカゴの取っ手を持ち、もう片方の手で手すりをしっかりと掴み、小さな体でゆっくりと階段を降りてきます。まるで遊びの延長のようにみんなが一歩一歩、楽しそうに降りてくる様子を見ていると思わず笑みが溢れます。



時には「〇〇ちゃん、速いよ!」「ちょっと待って!」などという悲鳴のような声も聞こえてきますが、そんな時には、ちゃんと「待って!」と自分の危機を伝えたり、友達の声聞き自分の足元を修正したり、周りの友達の様子に気づいて声を掛けてあげたりする子も出てきます。子どもの成長には、子どもたちが試行錯誤する十分な時間と大切な友達の存在があるということを感じて感ずる一場面です。

合言葉の「せーの」は気持ちを合わせる魔法の言葉。子どもたちの園生活のなかで、何十回、何百回と聞かれています。



## 負けないぞ!

子どもたちが大好きなリレーの話。先生と…友達と…いっぱい走った!コロナなんかにも負けるものかと思いきり体を動かした。走れば走るほど走ることが大好きになった。

負けたくない!何回も何回も作戦会議をした。誰が一番に走るのか、どうやったら速く走れるのか、



家の人にも聞いてみた。「なんか足に輪ゴムを付けると速くなるって言ってたよ。」「じゃあ、みんなだ輪ゴムを付けようよ！」なかなかおもしろい作戦。さて、その成果は…。

年長組の子どもたちは、運動会でリレーをしたいと、7月の水遊びの頃から園庭を走り始めました。その頃は、まだ友達と共有するものを避けていたこともあり、友達との間隔やバトンの扱い方など、教師も試行錯誤の状態でした。

コロナ禍での運動会や生活発表会の開催については、大変悩みました。安全と学びを天秤にかけながら、職員で何度も話し合いました。

しかし、夢中になって取り組む子どもたちを見ていると、子どもたちの成長に欠かすことのできない様々な体験が感じられ、集団生活の意味を改めて見つめ直す良い機会となりました。



勝つために走る順番を決める



気持ちを合わせる「せーの、おー！」



どうしたら速く走れるか時間をかけて作戦会議



力を合わせるために、こっそりと練習をする

そして、衛生管理を徹底しながらも、子どもたちの成長にとって欠かすことのできない今この時期の学びを大切にしようという結論にいたりました。計画を練り直し、皆さんにご理解をいただき、子どもたちが学びの多い豊かな体験をすることができたことに心より感謝いたします。



## 子どもの命を守るために…

朝8時頃になると、幼稚園の前を小学生がきれいに一列に並んで登校してきます。あと3ヶ月もすると、年長さんはその仲間入りをするのですね。今まで保護者の方と一緒に歩いてきた道のりを、4月からは小学生のお兄さんやお姉さんに連れられて歩きます。大きなランドセルを背負って一生懸命に歩くその姿を想像するだけで、とても感慨深い思いがします。



先日、年長組の保護者の皆さまは、下中小学校の乗原教頭先生より入学に向けての心構えについて、お話を伺いました。冬休みの間、いただいたチェックリストをお子さんと一緒に確認していただきながら、これからの3ヶ月を有意義に過ごしてほしいと思います。

ところで、皆さんは『グリーンベルト』をご存知ですか？

グリーンベルトとは、歩行者保護対策として、歩道が整備できにくい狭い路側帯を緑色にカラー化し路側帯を確保し、通行車両に注意を促して歩行者の安全対策を図るものです。一般的には歩道の無い生活道路や通学路の狭い道路などにペイントされているようです。



幼稚園の正門を出てすぐのところ（小学校前の道路）が、緑色に塗られています。それがグリーンベルトです。グリーンベルトの中を意識して歩くことは、子どもたちが自分自身の命を守ることに通じます。

そのため、子どもたちと園外に出る時には、必ず正門を出たところで道路を横断し、グリーンベルト内を歩くよう指導しています。また、安全指導として「自分の目で安全を確かめ横断すること」や「安全な道路の歩き方（基本的には右側通行、広がって歩かない、家の人から離れない等）」などを繰り返し伝えるようにしています。

12月に行われた交通安全教室では、「信号のある道路を渡るとき、たとえ歩行者用の信号が青に変わったとしてもすぐには歩きださないようにしましょう。『後ろからくる車（左折車）』が急に曲がってくることもあります。自分の目で右・左・後を確かめて渡るようにしましょう。」というお話がありました。

これから小学校までの道のりを、子どもたちだけで歩く日もそう遠くありません。道路の歩き方をもう一度確認していただき、大切な尊い命を守るために、みんなで声掛けをしていきましょう。



### 幼稚園にもクリスマスプレゼント！

園庭の遊具がとてもきれいに色付けされ、幼稚園が明るくなりました。ペンキで塗る前には、すべての遊具に“やすり”をかけ、白いさび止めが塗られました。その様子を見て、子どもたちは「幼稚園が真っ白けっけになっちゃったよ。どうしよう。」と、とても不安顔でしたが、数時間もすると、滑り台やリングトンネルが、赤や青、ピンク、緑など、色鮮やかに仕上げられピカピカになりました。それを見つけて「わあー遊園地みたい。」「ディズニーランドみたい。」と大感激！子どもたちの表現の豊かさに、私たちもわくわくしています。

年が開けてから、新しいブランコも入れていただくことになっています。今度はどんな名言が聞かれるのかとても楽しみです。



### 口腔内環境をきれいにしましょう！

12月17日に就園時健康診断がありました。その際、園医の武井先生から、新型コロナウイルス感染予防対策についてのお話を伺いました。

今までと同様、「丁寧な手洗い」「マスクの着用」「換気」に気を付け「人込みを避ける」ことが大切だとのこと。また、歯磨きについては、「口腔内環境は清潔にしたほうがよいでしょう。ただ、飛沫が飛ばないような配慮は必要ですね。」とのことでした。

しばらくは、幼稚園での食後の歯磨きは行いません。しかし、お子さんが自分で丁寧に歯を磨く習慣がつくよう、ご家庭での確認と仕上げ磨きをお願いします。

### 冬休みの中で…

子どもたちは、本当に素晴らしい力をもっています。その力を引き出すために、私たち教師は、よく『しかけ』をします。いかにも自分たちの手ですべてのことをやり遂げ、自分たちの手で達成できたかのように、少しだけ時間がかかる課題を出します。

そして教師（大人）は、一緒に悩み一緒に考え、ある時は、少し離れたところから見守り、またある時は、背中を押し…。そして、課題を乗り越えたときには、思い切りほめる。できたかできないかではなく、がんばったことを一緒に喜びます。その積み重ねの中で、子どもは、それぞれの持ち味を出しながら成長していきます。

さて、この冬休み、子どもたちはどんな体験をするのでしょうか。「どうしたらきれいに片づけられるかな？」「どうしたら楽しく過ごせるかな？」など、ご家庭でもちょっとした『しかけ』をしてみてください。子どもたちは試行錯誤しながら、喜んで課題をクリアしようと思えます。楽しい冬休みをお過ごしください！